

大雨と暴風に関する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

平成24年5月2日6時40分、「大雨と暴風及び高波に関する福島県気象情報第1号（福島地方気象台）」が発表されました。

（見出し）

福島県では、3日は激しい雨が降り大雨となる見込みです。また、浜通りの海上では3日は東よりの風が強く、大しけとなるでしょう。土砂災害や低地の浸水、河川の増水・はん濫、暴風や高波に警戒して下さい。

（本文）

【気象状況】

発達中の低気圧が九州の南にあって東北東へ進んでいます。この低気圧は本州の太平洋側沿岸を進み、3日夜には福島県沖に接近する見込みです。低気圧の東側では気圧の傾きが大きくなるため、東よりの風が次第に強まるでしょう。

【雨】

<地域・時期・量的予想>

福島県では、3日は局地的に1時間に40ミリの激しい雨が降り大雨となる見込みです。

3日6時まで予想される24時間雨量は、いずれも多い所で浜通り100ミリ、中通り、会津80ミリです。

その後も雨は4日にかけて降り続き、さらに雨量は増える見込みです。

<防災事項>

これまでの地震の影響で地盤が緩んでいるため、がけ崩れや山崩れなどの土砂災害に警戒して下さい。また、低地の浸水や河川の増水・はん濫にも警戒が必要です。

【風・波】

<地域・時期・量的予想>

浜通りの海上では、3日は東よりの風が強く、大しけとなる見込みです。

浜通りで3日に予想される最大風速は、海上で18メートル、陸上で14メートル、波の高さは、6メートルです。

<防災事項>

暴風や高波に警戒してください。

今後、気象台の発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

1 水 田

(1) 事前対策

- ア 増水に備え、畦畔や用排水路を点検しゴミ等を取り除いておきましょう。
- イ 大雨により水路が増水している場合は、危険ですので近づかないで下さい。

(2) 事後対策

- ア 耕起前または耕起後のほ場では早急に排水を図り、乾田化するよう努めましょう。
- イ 田植え後のほ場で移植後の苗が水没している場合は、葉先が出るよう排水しましょう。

2 麦 類

(1) 事前対策

滞水しやすいほ場では、必要に応じて畦畔の切削等を実施し排水に備えましょう。

(2) 事後対策

地表面に滞水が見られる場合は、溝切りなどの排水対策を行いましょう。

3 野菜・花き

(1) 事前対策

- ア ほ場周囲の排水溝を点検し、速やかに排水できるようにしておきましょう。水害の常習地帯では、強制排水のポンプも準備しておきましょう。
- イ ほ場周囲に防風ネットを設置している場合は、ワイヤー・針金の緩みやネットの破損を点検し補修しましょう。
- ウ パイプハウスの被覆資材及び止め具（マイカ線、ビニペット等）を点検し、ビニールの破損があれば補修しましょう。
- エ パイプハウスやネット栽培等で支柱を使用しているものは筋かいを入れ、補強しましょう。
- オ 施設では、天窓や扉があおられたり風が吹き込まないように完全に閉めておきましょう。
- カ 収穫期をむかえた品目や収穫中の品目は、可能な限り事前に収穫しましょう。
- キ は種や定植を予定しているものは、低気圧の通過後に実施しましょう。
- ク 露地野菜の葉菜類や根菜類では、べたがけ資材（不織布等）を支柱を用いて浮き掛けすることにより被害を軽減することができます。その際は、べたがけ資材が風に飛ばされないようにしっかりと止めましょう。
- ケ リンドウ等の露地栽培では、トンネルやフラワーネットの張り・支柱を点検し、倒伏や曲りを防止しましょう。

(2) 事後対策

- ア 停滞水は、明きょなどで速やかな排水に努めましょう。
- イ 土砂の流入、流出や決壊等でほ場が損壊した場合は、排土や客土によって補修を行いましょ。
- ウ ハウスや被覆資材各部の損傷、ゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修を行いましょ。
- エ 冠水し泥が付着している場合は洗い流すとともに、直ちに適切な薬剤散布を行いましょ。また、草勢回復のため、液肥のかん注や葉面散布剤の散布を行いましょ。

オ 施設の果菜類では、スレ果など収穫物の選果・選別に注意しましょう。

カ 収穫時は土が付着していないか留意し、品質の影響のない範囲で野菜に付いた土を取り除いたり、洗ったりしましょう。特に葉菜類はできるだけ外葉を取り除くようにしましょう。

4 果 樹

(1) 事前対策

ア リンゴのわい性台樹は倒伏しやすいので、支柱への結束状態を確認し、不十分な場合は補強しておきます。

また、木支柱の場合は、支柱の根元が腐敗していないかどうか確認します。

イ 立木では、主枝などの大枝が裂けるおそれがあるので、支柱で支え、脱落しないよう枝受け部分を結束します。

ウ 果樹棚等の施設は、前もって点検し、強風の前にアンカー補強や棚線の締め直し等を行います。

また、棚周囲に防風ネットを設置している場合は、風で飛ばされないように補強しましょう。

(2) 事後対策

ア 滞水している園地では、明きょなどにより速やかな排水に努めましょう。

イ 倒伏した樹はできるだけ早く起こし、土を盛り、支柱等で固定します。

ウ 大枝が裂けた場合は、ボルトやカスガイ等で止めるか、縄などでしばり傷口を接着させます。

また、大枝が折損した場合は、折れた部分からやや基部の健全な部分まで切り戻します。

さらに、傷口から病害などが侵入しないように、傷口の保護に努めます。

エ 果樹棚のワイヤー等が破損した場合は、速やかに修復や補強を実施しましょう。

オ 降雨や風により人工受粉のタイミングを逸した場合は、天候の回復を待って速やかに人工受粉を徹底し結実を確保しましょう。

5 畜産・飼料作物

(1) 事前対策

ア 強風による畜舎、飼料庫、飼料タンク、堆肥舎等の損壊、及び風雨の吹き込みを未然に防止するため、屋根、扉、窓及び外壁等の破損や亀裂等の有無を確認し、必ず補修等の応急措置を行いましょ。

特に、ハウス式の畜舎や堆肥処理施設等の簡易施設はビニールの破損等を入念に点検してください。

イ 飼料の保管場所では、風雨がかからないよう、入口付近の乾草や稲わら等をシートで覆うなどしてください。

堆肥舎への風雨の吹き込みも併せて防止してください。

ウ あらかじめ停電や断水等の対応を確認し、被災時には自家発電機等による搾乳等ができるよう対策を行いましょ。

エ 水はけの悪い草地や飼料畑には明きょを掘削するなど、速やかに排水できるようにしましょ。

オ 飼料用とうもろこしの播種適期を迎えますが、播種は天候が回復してから行ってください。

(2) 事後対策

- ア 畜舎等が浸水した場合は速やかに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を行った後、施設内の乾燥に努めましょう。
- イ 滞水している草地や飼料畑は、明きょなどを点検し速やかに排水しましょう。
- ウ 豪雨により草地や飼料畑で土壌浸食が発生した場合は、早めに修復しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7339

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyu/seikugijyutsujyohou.html>

モバイル県庁：福島モバイル県庁→お知らせ・各種情報→農業技術情報

(右欄に掲載のQRコードよりご覧ください)

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング
情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>



モバイル版 QRコード